

# 今秋の所沢公演のプログラム決定 空前絶後のシューベルト

11月29日 [日] 17時 ツィメルマン ピアノ・リサイタル

## ◆◇◆オール・シューベルト・プログラム◆◇◆

シューベルト：7つの変奏曲

シューベルト：ピアノ・ソナタ 第20番 イ長調 D.959

\*\*\*\*\* 休憩 \*\*\*\*\*

シューベルト：ピアノ・ソナタ 第21番 変ロ長調 D.960 「遺作」

## 圧倒的な感動。イタリア・ツアーでブラーヴォの嵐！

ツィメルマン氏は、当初シューベルト及びブラームスの作品でプログラムを構成すべく準備を進めておりました。しかし、ヨーロッパでの演奏ツアーを通し熟慮を重ねた結果、上記の通り「オール・シューベルト・プログラム」で所沢ミューズ公演を実施したいと連絡がありました。これは、シューベルトとブラームスの音楽の両方を一台のピアノで完全に表現するのは極めて困難であり、敬愛する日本の聴衆のみなさんに最高の演奏を聴いていただくには、シューベルトの作品に焦点を絞るのがベストである、というツィメルマン氏本人の結論によるものです。

シューベルト晩年の最高傑作とされる20番・21番の2つのソナタ、そして冒頭に演奏される変奏曲はシューベルト存命中の1810年頃にポーランドで出版されながら、その後誰にもかえりみられることなく埋もれてしまい1970年代になってようやくポーランドで発見された「幻の変奏曲」です。ツィメルマン氏はこの「変奏曲」の貴重な楽譜を恩師ヤシンスキ氏から譲り受け、大切に弾き込んできたということです。このオール・シューベルト・プログラムはイタリア・ツアーですでに演奏され、ローマの《Auditorium Parco della Musica》では2000人の聴衆がスタンディング・オベーションで賞賛し、ブラーヴォの嵐が長く続くほどの圧倒的な成功を収めました。

今回は当初発表の曲目から変更となりますが、どうぞツィメルマン氏の芸術家としての誠意と熟慮の結果をご理解いただき、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

平成27年6月29日

所沢ミューズ／ジャパン・アーツ